

細江カトリック教会だより

2.3月合併号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

コロナ禍の 四旬節

THE SEASON OF

Lent



PRAY



FAST



GIVE

初夏のような暖かい日があるかと思えば、また、厳寒に逆戻りといった油断のできない日々の中でも、春は着実に近づいているようです。町の中心部から、一步郊外に足を運ぶと、季節の変化を示す木々の姿に心が躍ります。四旬節に入って2週間、あらためて、今教会が過ごしている季節について触れてみたいと思います。「四旬節」と訳された言葉は、ラテン語の Quadragesima (40日間) からくるものですが、英語では Lent (日が長くなることから春を意味する) と言います。

いずれも、復活祭を迎えるための40日におよぶ準備期間について言われるものですが、英語の Lent という言葉を考えると、あらためて厳しい冬に耐えて、暖かい春を迎えるときにふさわしい言葉に聞こえます。40という数字は、聖書の中で繰り返し使われます。ノアの洪水の40日40夜、モーセが主の言葉を聞くためにシナイ山のふもとで過ごした40日、イスラエルの民が砂漠で過ごした40年、そして、主イエスが公生活を始める前に荒野で過ごされた40日など。いずれも、迎える大きな喜びの前に、人々が経験しなければならなかった試練の日々を思わせます。

イエスご自身の生涯について考えるなら、四旬節は、荒野で過ごされた40日が象徴するように、決して四旬節の最後に来る聖週間だけでなく、来たるべき受難へと方向づけられた公生活全体をさしているように思われます。人々の心に響く説教と、それに対する冷やかな反応、慈しみの心がほとぼしる癒しの業と、それに難癖をつけるファリサイ派の人々の態度、イエスの評判が高まれば高まるほど、イエスご自身の思いに逆行する人々の軽率なふるまい等が、イエスの存在そのものを否定し、その教えを拒否する指導者層の頑なな態度と相俟って、イエスを受難へと導いてゆきました。イエスは、まさに、わたしたちが人生の中で味わう、矛盾、誤解、不条理、人々の批判、妬み、憎しみ、頑なな態度を日々経験しておられたのです。

ひるがえって、わたしたちが置かれた状況を考えてみると、1年前から始まった新型コロナ感染症に対する不安と恐怖、感染予防のための様々な制約、安全確保のための対策等、絶えず緊張を強いられる日々でした。さらに、最近のことを考えると、コロナ禍の中での蔓延防止、また、ワクチン接種にかかる問題、そして、延期されたオリンピック開催の可否、官僚に関連するスキャンダル、すべてにかかわる政権の対応等、一つ一つが毎日のメディアの格好の材料となり、批判・攻撃のあらしが吹き荒れています。日々、そのような報道にさらされていると、いつの間にか、心が沈み、希望を失いがちになります。しかし、そのような解決の見えない状況だからこそ、心を上に、人間の知恵を超えた方に向け、光と導きを仰ぐべき

ではないでしょうか。「メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはず」とルカは記します。同時に、苦しみを通して栄光に入られた主が、わたしたちの苦しみの中に、共にいてくださることが、わたしたち信仰者の確信でもあるのです。四旬節の間、そんな喜びを少しでも実感できる恵みをお祈りいたしましょう。

作道 宗三 神父



さよなら！また、お会いできる日を

キリストの愛のうちに・・・



皆さんがこの文章を読む頃には、多分私は東京に戻っていますでしょう。東京では、中間期生として、私は上智大学のカトリックセンターでイエズス会のミッションを実習し続けます。

細江教会で仕事を実習していた間、いつもお世話になり、ありがとうございました。残念ながら、去年からコロナの影響で多くの活動が中止になったり、縮小されたりしてしまいましたね。その状況の中で最初、私は結構心配したけれども、神父様の指導や皆さんの助けなどのおかげで、順調にできたように思います。

毎日、幼稚園で楽しく仕事をやって、そして神父様の下で、日本の教会のことや、歴史、社会、よく学びました。心から皆さんに感謝しております。

新しい仕事はまだ分からないけれども、おそらくもっと違うチャレンジがあるかもしれません。しかし、出来るだけ私は頑張りたいと

思います。私に与えられた仕事を遂行できるよう、私のために祈ることを忘れないで下さい。本当にありがとうございます。

私も神様が皆さんに多くの恵みを与え、皆さんの健康と平和を心から祈っております。

グエン タン アン

地区だより Ⅷ

新下関地区 佐伯敏哉

2021年1月31日に息子が長府教会で結婚式を挙げました。結婚講座の講師として、また結婚式の司祭を務めていただいた作道神父様に心より感謝申し上げます。そして準備から当日の進行を行っていただいた長府教会の関係各位につきましても御礼申し上げます。

さて、息子の結婚に当たっては気がかりなことが一つありました。それは信教の自由は日本国憲法によって保障されている中であって、彼女がカトリックになってもらえるか否かについてでした。これに関しては「説得」するものではないので私と妻は何も言わず、彼らの考えを尊重することにしていました。彼女も彼女の親御さんも非常に理解のある方でカトリックになること、何ら抵抗なく受け入れてもらえました。ただ、カトリックってどんな宗教かと尋ねられ、西暦とはキリストが生まれた年を紀元としているとか、ローマ教皇を中心として全世界に12億人以上の信徒を有するキリスト教の教派などとウィキペディア情報しか答えられなかった自分が情けなく、ひどく落ち込んだのは内緒の話。



♡ おめでとうございます！

総士さんと茉帆さんのお幸せをお祈ります。

聖書の書き写しリレー（旧約）

教区創立100周年（2023年）に向け、「教区の一一致のしるし」を目的に、聖書の書き写しリレーが始まりました。昨年度、新約聖書が完成し、本年度から四回に分けて旧約聖書の書き写しに入りました。

第一回の当教会の担当は、申命記の箇所となっています。神のみ言葉を書き写す時、自ずと心落ち着かせてゆっくりと書くことと心がけます。コロナ禍の中、特別な時間を恵まれたことを思い、聖書に親しみ書き写す時、すべてを忘れて至福の時間となっていると感じます。

神に感謝！
大住 昭夫



ベトナムの青年たちの紹介

グエン タイン ハン

私はベトナム人のグエン タインハンと申します。二年前、私は全く知らない異国にやって来て、生活を始めました。



細江教会に来て、日本人と外国人と一緒にミサに参加できます。さらに、ミサの終わりで皆さんと楽しく話せて、いろいろな事を教えて頂き、感謝の気持ちがいっぱいあります。

細江教会に行ってから、二年が経ち、皆さんと第二の家族になりました。本当にありがとうございます。

*彼女の歌声もとても綺麗で素敵です！



フアム ウアン ビン

皆さん、おはようございます。自己紹介します。私は、フアム ウアン ビンです。



日本に3年います。今年29歳、独身です。私の家族は、父と母と姉、弟、妹の6人家族です。私の故郷はベトナムで最初のカトリック宣教の場所です。私

の故郷は多くの教会があります。機会があれば、皆さん、ぜひ観光してくださいね。

現在、私は林兼産業会社の実習生です。私の仕事はソーセージとハムを作ります。3年間働きました。現在、私は下関に住んでいます。

毎週日曜日には、細江教会のミサに行きます。ミサの中で祈るのは、とても楽しいです。日本語が下手でも、皆さんに助けてもらって、だんだんと分かるようになります。ありがとうございます。これからも、よろしくお祈りします。

皆さんの上に、神さまの祝福がありますように。



3月・4月の行事予定

◇3月14日(日)9:00

四旬節黙想会

講師:長崎教区 川口昭人神父さま

*ミサ後にゆるしの秘跡。

*自由参加。

◇3月14日(日)14:00 ベトナム語ミサ

◇3月21日(日)ミサ後

拡大典礼委員会

◇3月28日(日)枝の主日

ミサ後、大掃除

◇4月 1日(木)19:00

聖木曜日:最後の晚餐

◇4月 2日(金)19:00

聖金曜日:主の受難

◇4月 3日(土)19:00

聖土曜日:復活の聖なる徹夜祭

*ベトナム青年の洗礼式

◇4月 4日(日)11:00

復活の主日 (祝賀会は中止)

*28日、聖週間も自由参加。

(注)この予定はコロナ感染拡大状況により変更になることもあります。


東日本大震災の祈りの集い
3月11日(木)14:30

10年が過ぎようとしています。

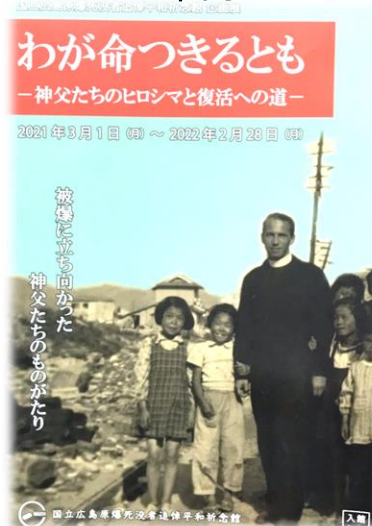
被災地の復興や支援、被災地の風景も大きく変わりました。

福島原発事故への対応も気になります。

今もなお、被災した人々にとって終わっていないあの出来事に思いを馳せましょう。

ご都合のつく方は、一緒にお祈りしましょう。

ご案内

*国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
企画展『わが命尽きるとも』

—神父たちのヒロシマと復活への道—

2021年3月1日～2022年2月28日開催

*原爆投下後、イエズス会の幟町教会4名の神父さまが、負傷を負いながらも教会の仲間や隣人を救い出す…。

企画展で上映する映像作品をぜひ皆さまに。外国人神父さまたちの体験記を通して、ヒロシマの復活への道をたどる(パンフレットより)。

<https://www.hiro-tsuitokenkan.go.jp/>
「企画展」検索

編集後記

・ディン神父さまによる「INORUHANA」をご覧になったでしょうか？

教皇さまの祈りの意向も掲載されていますので、ご一緒にお祈りください。

・コロナが早く終息し、みんなが一緒に教会に集えるように。

・この教会便りを教会に来られない方々にお届けしていますが、十分ではありません。皆さまのご協力をお願いします。

・ベトナムの青年たちに原稿を依頼しています。少しでも多くの方々に、彼らの事を知ってほしい。多くの苦難を乗り越えて、頑張っている彼らに応援をお願いします。

広報委員会一同